

“お酒は 楽しく”

協和町総合企画開発課

係長 奥田 宣子



私が初めてお酒を飲んだのは、中学3年生の時である。昭和45年3月11日。忘れもしない高校受験の前の晩で、“眠れない、”と言う私に父がコップに日本酒をなみなみとついで来たのである。一口だけ飲んで父に返したが、残りはどうなったのか覚えていない。おそらく父が飲んだのだろうが、いくら眠れないからといっても、15歳の娘に250ccの酒は多過ぎる。出来の悪い娘の受験に、父の方が緊張して酒を飲みたい心境だったのかもしれない。

職場では、酒を飲む機会が結構多い。新年会に始まり、花見、歓送迎会、暑気払い、職員旅行、仕事の打ち上げ、忘年会など数えたらきりが無い。新年会、忘年会は、一度では済まない。課の他に各種グループの付き合いもあるし、職場から離れれば、地区の若妻会(実態は婆妻会である)、小学校のPTA、息子が入っているスポーツ少年団サッカーチームの役員会など、最低でも五回位は出かけることになる。“役場の連中は飲んでばかりいる。”などと外部からの声も聞こえて来るが、ほっとしてもらいましょう。「自分のお金で、楽しく飲んでどこが悪いのよ。」と言いたい。

私のいる企画課でも、時々楽しい宴会を開いている。特に楽しいのは、新年会。課長のお宅におじゃまして、奥様の手料理をごちそうになる。これが最高に美味しい。器選びから盛り付けまで、本当に見て楽しみ、食して楽しむ料理なのである。今年の新年会の時は、青竹の器に黒豆や数の子を

盛り付け、お箸は課長が、青竹を削って作り、箸置きは娘さんが、和紙でかわいいりボンを作ってくれた。昨年の夏、鯛をごちそうになった時は、大きなひび皿に小粒の玉石を敷き、シャガの花を飾り、鯛が盛り付けられた。本当にきれいで、箸をつけるのをためらってしまうくらいであったが、10分も経たないうちに鯛は骨だけになってしまった。今年の11月に、どびん蒸しをごちそうになった時は、もみじの葉の上に、甘栗やさといもの田楽が並べられた。本当に心憎い演出である。少しは見習わねばと思っている。

課長の家の料理紹介みたいになってしまったが、要は、お酒は、おいしく、楽しく飲みたいと言いたいのである。おいしいお料理を食べて、冗談がポンポン飛び交う宴会は、本当に楽しいし、最高のストレス解消法だと思っている。

女の私が酒の話などをすると、すごい飲んベエ姉ちゃんのように思われてしまいそうだが、本当はそれほど飲めないのである。姑と食前にビールを半分ずつ飲むのが、ちょうど良い量なのである。飲み過ぎて次の日、二日酔いになり朝から、お茶ばかり飲んでいる人や、“梅ぼしないか?、”などと言う人が、私の回りにも時々いる。半分死んだようになっている人には、聞いてみたい。“夕べの元気は、どこへ行ったの?、”

何かと飲む機会の多い季節であるが、最後に、いつもご多忙の皆様のご健康をご祈念申し上げ、乾杯といたしましょう。“かんぱーい、”

【新着資料案内】 【新着資料案内】

この資料は、平成4年11月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用下さい。
 行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係		茨城県関係	
国勢調査報告平成2年第3巻 その2	総務庁	県政世論調査平成4年	広報課
事業所統計調査報告平成3年第2巻 ⑧	"	災害の記録平成3年	消防防災課
全国消費実態調査報告平成元年第8巻 ②	"	鉱工業指数,茨城県平成3年	統計課
労働力調査年報平成3年	"	観光レクリエーション現況,茨城	観光物産課
科学技術白書平成4年版	科学技術庁	革新的栽桑方式基軸した繭生産技術体系確立	蚕業研究所
犯罪白書平成4年版	法務省	進路指導の手引1990	教育庁教職員第二課
管内経済統計年報平成4年版	関東財務局	職員の給与等に関する報告,勧告及び意見	人事委員会
学校基本調査報告書平成2年度	文部省	都道府県関係	
学制百二十年史	"	事業所統計調査報告 都区市町村編 ③	東京都
人口動態社会経済面調査報告平成2年度	厚生省	産業分類組替結果編 ③	"
商業統計表平成3年第3巻 産業編 第4巻 品目別	通商産業省	町丁目編 ③	"
石油等消費動態統計年報平成3年	"	会社企業編 ③	"
本邦鉱業の趨勢平成3年	"	東京都刊行物目録平成3年度	"
婦人労働の実情平成4年版	労働省	都民のくらしむき平成3年	"
毎月勤労統計調査年報平成3年	"	工業生産統計調査結果報告平成3年	神奈川県
公共工事着工統計年報平成3年度	建設省	静岡県景気動向平成3年	静岡県
消防白書平成4年版	消防庁	毎月勤労統計調査総合報告書平成3年	和歌山県
農業総合研究所年報41平成3年度	農業総合研究所	学校基本調査結果報告書平成4年度	岡山県
		広島県人口移動統計調査報告平成3年	広島県
		会社・公社・団体等関係	
		地域経済総覧1993年	東洋経済新報社

経 済 動 向

国内の動き

● 93年、日本は2.5%成長

経済協力開発機構（OECD）が公表した対日経済審査報告によると、日本の92年の実質成長率は、8月末に決定した総合経済対策の効果を織り込んでいるものの1.8%と、6月時点の経済見通しと変わっていない。93年については前半の低迷が響くうえ、設備投資の減少傾向が続き、年後半から着実に回復に向かうものの、年間では2.5%にとどまると予測。今年6月時点の見通しを0.6ポイント下方

修正した。ただ、93年後半以降は年率3%程度、94年は3.5～4%へと成長率は着実に上向くという姿を描いている。住宅投資、公共投資が堅調に増加することに加えて、物価の安定と雇用増を背景に実質所得が堅調に推移し、家計の消費が緩やかながら回復に向かうとみている。

（11月27日付 日経）

● 全産業、経常利益22%減

企業業績が一段と落ち込んでいる。日本経済新聞社が3月本決算の全国上場企業1554社（損保、変則決算を除く）の93年3月期の収益予想をまとめたところ、銀行、証券を除く全産業で前期比2.0%の減収、同22.3%の経常減益の見通しになった。3期連続の減益で、減益幅は前期（14.7%

減益）を上回る。92年9月中間決算は銀行、証券を除く全産業で前年同期比3.4%の減収、同30.1%の経常減益になった。下期も前年同期に比べ売り上げは0.6%減で、14.1%の経常減益になる見通しだ。

（11月28日付 日経）

● 雇用、地域格差広がる

労働省は10月下旬に全国で開いた雇用情勢に関する緊急会議の報告をもとに「雇用の地域格差が広がっている」とする情勢判断をまとめた。中部、中国・四国ではなお人手不足感が強いものの、バブル崩壊の影響が大きい関東、関西ではさらに雇用調整の動きが広がる可能性があり、全体

としては労働需給の緩和が続くと分析している。しかし来春から秋ごろまでに景気が回復するとみる地域が多かったことから、労働省は円高不況時のように深刻な状況ではないとの見方を強めている。

（11月9日付 日経）

県内の動き

● つくば国際会議場 年54億円の波及効果

科学技術庁の外郭団体・新技術事業団と県が、来年度の国と県の予算案に基本設計費を要求することになっている知的触発国際プラザ（別名・つくば国際会議場）について、県が独自に地域経済に与える波及効果を探ったところ、会議開催は年間2000件、延べ参加者は36万人にものぼり、参加

者が会議に参加して地元にとす「直接的消費額」は宿泊収入12億円、飲食収入11億円、交通等収入6億円、印刷・通訳などで6億円の計35億円にのぼり、業界相互間の中間需要などから発生する推定誘発生産額も19億円になると予測している。（11月1日付 茨城）

● 守谷町に14階建ての高層住宅団地建設計画

住宅・都市整備公団は、北相馬郡守谷町内に14階建て総戸数1300戸の高層住宅団地建設計画を守谷町に提示した。1993年度着工で、95年度から分譲を開始し、完成は99年度となっている。首都圏のベッドタウンとして人口増の続く同町は、マイホーム一戸建ての低層が中心で、ゆとりある

住居が“売り物”として分譲されてきた。今回示された計画は、土地高度利用の一環から高層住宅開発を導入する計画で、地価高騰の余波を受けたようだ。

（11月4日付 茨城）